

鹿追町の高校支援について

北海道鹿追町教育委員会 学校教育課

令和8年度版

なぜ、町が高校を支援するのか

鹿追高校は北海道立ですが、鹿追町にとって「町唯一の最高学府」です。少子化が進むなか、高校の存続は町の未来と直結しています。町は幼・小・中・高の一貫した教育環境を整え、**人が育ち・集まり・定着するまち**を目指して、設置者の枠を超えた支援を続けています。

平成14年（2002年）には文部科学省「**連携型中高一貫教育推進校**」に指定され、鹿追中学校・瓜幕中学校との系統的な一貫教育を推進。さらに幼小中高を通じた**IB（国際バカロレア）一貫教育**の実現を目指しています。

支援の経緯

H14 (2002)	文部科学省「 連携型中高一貫教育推進校 」に指定。鹿追中学校・瓜幕中学校との系統的な一貫教育を制度的に推進
H19～ H28	入学者数が63～79名で推移。少子化による町内中学卒業生の減少が続き、高校存続に向けた対策が本格化
R2 (2020)	入学者 28名 に急減（町内中学卒業生の減少が主因）。全国から生徒を招く抜本的な対策の検討が始まる
R4 (2022)	全国生徒募集（地域みらい留学）開始 。あわせて「高校教育支援条例」「鹿追高等学校支援基金条例」を制定し、支援体制を法的に整備
R5 (2023)	全国から来る生徒の居住環境を整えるため、 Penguin House （シェアハウス型・12室）の運営を開始
R6 (2024)	Penguin Dormitory （公設寄宿舍・40室）を新設。入学者75名に回復（うち全国から道内7名・道外9名）
R7 (2025)	Penguin House 21室増築完了 （合計33室）。寮総定員73室体制が整う。入学者79名（うち全国から道内10名・道外10名）

支援事業の種類（概要）

● 通学費・下宿費・修学旅行費助成	● 公設寄宿舍の整備・運営（2施設・計73室）
● 全国生徒募集（地域みらい留学）支援	● オンライン公設塾の運営
● カナダ姉妹都市への短期留学派遣	● 国際バカロレア（IB）認定への支援
● みらい留学コーディネーター配置	● 高校教育振興補助・英検受験料助成
● 修学資金貸付制度	● 鹿追高等学校支援基金の運用
● iPad無償貸与	● Wi-Fi設備整備

令和8年度 支援総額

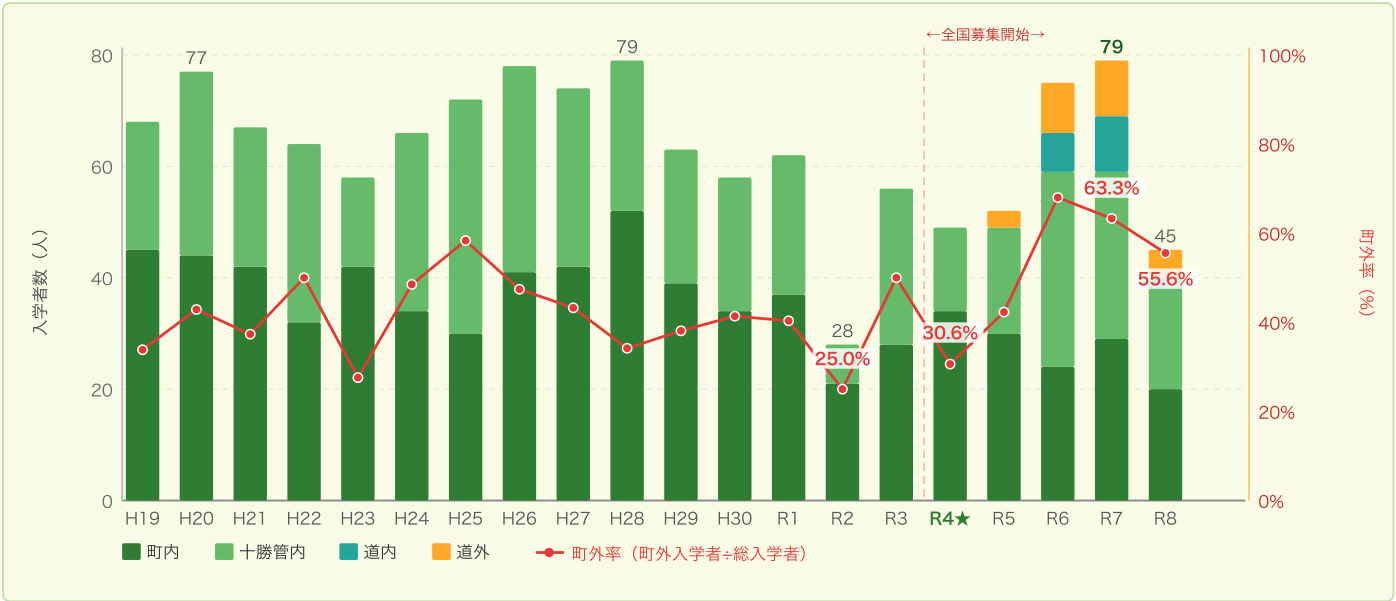
約 2億2,759万円

令和8年度予算額

財源：一般財源 + 内閣府補助金（対象経費の1/2）

入学者数の推移（過去20年・H19～R8）

出身地別入学者数 + 町外率（複合グラフ）



※ 町外率 = (総入学者数 - 町内入学者数) ÷ 総入学者数。R4★より全国生徒募集（地域みらい留学）開始。

入学者数 推移表（出身地別）

H19～H28（全国募集開始前）					H29～R8（全国募集開始含む）						
年度	計	町内	管内	町外率	年度	計	町内	管内	道内	道外	町外率
H19	68	45	23	33.8%	H29	63	39	24	—	—	38.1%
H20	77	44	33	42.9%	H30	58	34	24	—	—	41.4%
H21	67	42	25	37.3%	R1	62	37	25	—	—	40.3%
H22	64	32	32	50.0%	R2	28	21	7	—	—	25.0%
H23	58	42	16	27.6%	R3	56	28	28	—	—	50.0%
H24	66	34	32	48.5%	R4★	49	34	15	—	—	30.6%
H25	72	30	42	58.3%	R5	52	30	19	0	3	42.3%
H26	78	41	37	47.4%	R6	75	24	35	7	9	68.0%
H27	74	42	32	43.2%	R7	79	29	30	10	10	63.3%
H28	79	52	27	34.2%	R8	45	20	18	2	5	55.6%

※ 道内・道外欄「—」は0名。R4★より全国生徒募集開始。町外率が青色は60%超。